

看護研究評価ルーブリック看護研究（看護学科）2024年1月16日

評価項目	A (25点)	B (20点)	C (15点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
1. 看護研究の目的や説明できる。(D)	自らが看護研究の目的を深く理解し、すべて説明することができる。	看護研究の目的や説明がほとんど説明できる。	看護研究の目的について、少し述べることができる。	看護研究の目的や説明が全くできない。
2. 研究方法について説明できる。(D)	研究方法のすべてを自らが調べ、すべて説明できる。	研究方法を調べ、ほとんど説明できる。	研究方法を調べ、少し説明できる。	自らが学習せず、研究方法を説明できない。
3. 看護研究のプロセスを説明できる。(D)(E)	自らが看護研究のプロセスをすべてわかり説明できる。	助言により看護研究のプロセスをおおむねわかり説明できる。	多くの助言により看護研究のプロセスを少しわかり説明できる。	多くの助言により看護研究のプロセスをわかろうとしないため説明できない。
4. 自ら研究論文を調べて、内容を説明することができる。(D)(E) ※文献検索により、クリティークができる 10点	研究テーマに関する分野に広く興味関心を持ち、自ら具体的な目標を設定して、積極的に研究の課題を明確にし、取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> テーマに基づき、積極的に適切な方法で文献検索を行い、的確なまとめ、クリティークができる。	研究テーマに興味を持ち、自分で良く考えて研究の課題を見出し、取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> テーマに基づき、おおむね文献検索を行い、まとめ、クリティークができる。	研究テーマに沿って、自分から研究課題に取り組むことができる。 <input type="checkbox"/> 自からの興味のあるテーマに基づき、少し文献検索を行い、弱いクリティークができる。	自分から研究に課題を選択できず、取り組むことができない <input type="checkbox"/> テーマにも続いた文献収集を行えず、まとめ、クリティークができない。

<p>5. 研究に関連した計画書(案)を書くことができる。(D)(E) ※研究を行う上で、倫理的配慮を考慮した研究計画を立案できる</p>	<p>自ら研究分野の現状を見極め、倫理的配慮を自分で考え、適切な方法で研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)を立案できる</p>	<p>研究分野の現状を見極め、倫理的配慮を少し考え、おおむね研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)が立案できる。</p>	<p>研究分野を見極め、簡単な研究計画を立案することができる。</p>	<p>研究計画を立案することができない。</p>
<p>プレゼンテーション 2回(クリテック・計画発表) 各5点 時間内で加点</p>	<p><input type="checkbox"/>テーマに基づき、積極的に適切な方法で文献検索を行い、的確にまとめ、クリテックを発表できる。 <input type="checkbox"/>自らが考えた倫理的配慮を含めた研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)を積極的に発表、適切に論破できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>テーマに基づき、ある程度の方法で文献検索を行いおおむねまとめ、クリテックを発表できる。 <input type="checkbox"/>自らが考えた倫理的配慮を含めた研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)をおおむね発表、議論できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>テーマに基づき、方法は雑であるが文献検索を行い、少しまとめ、クリテックを発表できる。 <input type="checkbox"/>研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)を少し不足してるが発表、少し議論できる。</p>	<p><input type="checkbox"/>テーマに基づかず、文献検索を行えず、まとめもできず、クリテックを発表できない。 <input type="checkbox"/>研究計画(テーマ、目的、方法、分析、論理的配慮)を発表、できない</p>